

令和6年度 福島市社会福祉審議会 第1回地域福祉専門分科会 会議録

開催日時	令和6年5月31日（金） 10時30分～11時10分																														
開催場所	市民会館 301号室																														
分科会委員 (9名)	<p>出席8名 欠席1名</p> <table> <tr><td>・遠藤 寿海</td><td>委員</td><td>(出席)</td><td>・高橋 久美子</td><td>委員</td><td>(出席)</td></tr> <tr><td>・安部 正夫</td><td>委員</td><td>(出席)</td><td>・武田 淑子</td><td>委員</td><td>(出席)</td></tr> <tr><td>・菅野 美智子</td><td>委員</td><td>(出席)</td><td>・立花 由里子</td><td>委員</td><td>(出席)</td></tr> <tr><td>・佐藤 守</td><td>委員</td><td>(出席)</td><td>・山田 和江</td><td>委員</td><td>(欠席)</td></tr> <tr><td>・鈴木 泰雄</td><td>委員</td><td>(出席)</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	・遠藤 寿海	委員	(出席)	・高橋 久美子	委員	(出席)	・安部 正夫	委員	(出席)	・武田 淑子	委員	(出席)	・菅野 美智子	委員	(出席)	・立花 由里子	委員	(出席)	・佐藤 守	委員	(出席)	・山田 和江	委員	(欠席)	・鈴木 泰雄	委員	(出席)			
・遠藤 寿海	委員	(出席)	・高橋 久美子	委員	(出席)																										
・安部 正夫	委員	(出席)	・武田 淑子	委員	(出席)																										
・菅野 美智子	委員	(出席)	・立花 由里子	委員	(出席)																										
・佐藤 守	委員	(出席)	・山田 和江	委員	(欠席)																										
・鈴木 泰雄	委員	(出席)																													
事務局	<p>共生社会推進課長 中野 貴幸 共生社会推進課課長補佐兼地域福祉係長 清野 博光 共生社会推進課 地域福祉係 主査 菊池 孝幸 共生社会推進課 地域福祉係 副主査 小関 真悟</p>																														
会議次第	<p>○令和6年度 福島市社会福祉審議会 第1回地域福祉専門分科会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 分科会長の選任 3 職務代理者の指名 4 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 福島市地域福祉計画2026策定の概要について (2) その他 5 閉会 																														

協議事項等の内容

1 開会	各委員及び事務局員の紹介（自己紹介） (補足説明) 名簿の No10 の「学生代表」は、地域福祉計画作成にあたり、若い方の視点・ご意見を取り入れたい。現在検討中で決定したらご紹介する。
2 分科会長の選任	福島市社会福祉審議会条例第6条第5項の規定により、委員の互選で選任。 【分科会長】遠藤 寿海 委員
3 職務代理者の指名	福島市社会福祉審議会条例第6条第7項の規定により、分科会長が指名。 【職務代理者】安部 正夫 委員
4. 協議事項	議事進行：遠藤分科会長（議長） (1) 福島市地域福祉計画2026策定の概要について（説明者：事務局） (補足説明) 現計画「福島市地域福祉計画2021」の中間評価については、第2回または第3回に報告する予定。
《意見交換》	
【A委員】	市民アンケート調査の内容についてはどのようなものを考えているか。
【事務局】	地域福祉分科会の中で原案を作成したいと考えている。まずは、事務局が作成する案を提示しながら、協議を進めていきたい。
【A委員】	内容は事務局が考えるのか。
【事務局】	事務局では原案を作成するが、本分科会の中でご意見をいただきながら、作成したいと考えている。
【A委員】	市民アンケートは何名の方が対象か。
【事務局】	無作為に抽出した2,500名を対象として考えている。 年齢構成についても工夫をする予定。若年層からの回答率が低い傾向があるため、統計を見ながら年代毎の発送数の割合も検討したい。その内容についても本分科会において協議し決定していく。
【B委員】	次回の分科会の際に市民アンケートの骨子と対象を協議していくとのことだが、回答方法案についても提示してもらえるのか。
【事務局】	回答方法についても次回分科会において提示する予定。前回までの回答方法は紙ベースのみであったがデジタルでの集約も検討中である。

<p>【B委員】</p> <p>【事務局】</p> <p>【C委員】</p> <p>【事務局】</p> <p>【C委員】</p> <p>【事務局】</p> <p>【C委員】</p> <p>【事務局】</p> <p>【D委員】</p> <p>5 閉会 【事務局】</p>	<p>(2)その他 「学生代表」の選出方法といつ頃からメンバーに参加するのか。大体のスケジュールを確認したい。</p> <p>次回の分科会までには入ってもらいたいと考えている。早急に対応する。 共生社会推進課ではバリアフリーの推進の一環として「心のバリアフリー推進隊」の取り組みがあり、何名かの学生さんに参加してもらっている。その中からお一人を考えている。</p> <p>学生一人と決まっているのか。広く一般的に公募で学生を募ることはしないのか。</p> <p>学生に限定はしていないが、以前は公募していた経過がある。その際は申し込む方がおらず、ずっと空席の状態であった。こちらの方から直接働きかけないと難しい現状もあり、今回からこのような形をとった。</p> <p>選出された方からも、若い世代の立場から活発な意見ができるといい。</p> <p>地域福祉の分野だと基礎知識がないと意見が出ない。興味だけではなかなか手を上げづらいところである。「心のバリアフリー推進隊」では、共生社会の実現を目指すためには何ができるというのをみんなで考え、社会活動にも参加する意欲が高く、専門的にも勉強してきた方々。今般の地域福祉計画は、地域共生社会の実現を目指す福祉分野全方位を担う大きな計画になるので、公募をかけてもなかなか集まらない。そのため、もともと知識があって活動に興味がある方を対象に選定作業を進めている。</p> <p>「学生代表」枠を複数人にするとか。</p> <p>臨時委員として追加も可能であるため、委員からの意見があれば都度検討していく。</p> <p>「心のバリアフリー推進隊」の活動に関してはキャッチフレーズを作成していて、その選定の時にも関わってきた。小中学生から募集をして「共生、学びは無限大」と決定。その浸透も福島市内で図っていかなければならない。福島市のホームページ上で活動実績を紹介しているため、ぜひご覧いただきたい。もしご意見等があれば出してもらいたい。市交通政策課ではまちづくりのバリアフリーを進めていて、地区ごとの計画を作成している。心のバリアフリーを中心とした「共生」というところへのつながりを、いろんな世代の方からの意見を聞きたいと考えている。そのため、若い世代からの委員からもたくさん意見をいただきたいと考えている。</p> <p>アンケート調査の進捗によっては、分科会の合間に書面でのご意見の集約もあるかと思うので予めご承知おき下さい。</p>
--	---